

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月18日

計画の名称	藤枝市における安全・安心・快適な住環境の創出（地域住宅計画）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	藤枝市												
計画の目標	『市営住宅等の公共建築物の住環境の改善を図ることにより、安全・安心・快適な、住まいを実現する。』 『民間の住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を図ることにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。』												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	660	A	552	B	0	C	108	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	16.36	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	藤枝市市営住宅の老朽化した屋上・外壁防水改修実施率を上げる 事業実施状況をもとに算出する。 (屋上・外壁防水改修実施率) = (実施した市営住宅戸数) / (地域住宅計画(H23~32中)の実施予定住宅棟数)	78%	%	100%
2	藤枝市のバリアフリー化された市営住宅の割合を上げる 事業実施状況をもとに算出する。 (バリアフリー化率) = (バリアフリー化された市営住宅数) / (全市営住宅数)	67%	%	75%
3	藤枝市における住宅の耐震化率を上げる 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数)	85%	%	95%
4	藤枝市における道路整備延長増加による狭あい道路の解消 事業の実施状況をもとに、狭あい道路整備延長の目標値に対する達成率を算出する (目標達成率) = (狭あい道路整備延長) / (H32末時点の狭あい道路整備目標延長(1,506m))	87%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	ストック総合改善・長寿命化計画策定	藤枝市						134		策定済
	A15-002	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	住宅地区改良事業	改良住宅ストック総合改善	藤枝市						18		策定済
	A15-003	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	公営住宅等整備事業	借上型住宅建設費助成等	藤枝市						14		策定済
	A15-004	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	公的賃貸住宅家賃低廉化事業	地域優良賃貸住宅	藤枝市						23		-
	A15-005	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	空き家再生等推進事業	空き家活用調査事業・実態把握事業	藤枝市						10		-
											小計						199		
住環境整備事業	A16-006	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	(直接)耐震診断及び改修等・市内全域	藤枝市						41		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-007	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	(間接)耐震診断及び改修等・市内全域	藤枝市						265		-	
	A16-008	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	(直接)狭あい道路の拡幅整備等・市内全域	藤枝市						25		-	
	A16-009	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	狭あい道路整備等促進事業	(間接)狭あい道路の拡幅整備等・市内全域	藤枝市						3		-	
	A16-010	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	がけ地近接等危険住宅移転事業・市内全域	藤枝市						19		-	
												小計						353		
												合計						552		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 藤枝市都市建設部内による評価	事後評価の実施時期 令和4年1月
	公表の方法 藤枝市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1, 2) 計画期間内において市営住宅の屋上・外壁防水改修やバリアフリー改修が進んだことで、市営住宅入居者の住環境の改善が図られ、安全・安心・快適な住まいが促進された。 指標3, 4) 計画期間内において木造住宅耐震化助成や木造住宅建替え助成により、市内287戸の住宅の耐震化、49戸の住宅の建替えを実施。また、狭あい道路整備の延長距離を429m実施したことにより、安全・安心・快適な住まいが促進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	計画期間内において、がけ地近接危険住宅の移転を4戸、危険なブロック塀の撤去に対して202件、危険な空き家の解体に対して138件を助成により実施。市内の安全・安心が促進された。
特記事項（今後の方針等）	
次期整備計画を作成し、引き続き市営住宅の改修や、住宅の耐震化の向上、狭あい道路の解消等を図る。 事業効果、指標の達成状況及び今後の方針について確認し、審議した結果、整備計画は概ね適正に執行されたと認める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	$(\text{屋上・外壁防水改修実施率}) = (\text{実施した市営住宅数}) / (\text{地域住宅計画(H23～R2中)の実施予定市営住宅数})$	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	$(\text{バリアフリー化率}) = (\text{バリアフリー化された市営住宅数}) / (\text{全市営住宅数})$	
	最終目標値	75%
	最終実績値	73%
3	$(\text{住宅の耐震化率}) = (\text{耐震化が確保された住宅数}) / (\text{全住宅数})$	
	最終目標値	95%
	最終実績値	92%
4	$(\text{目標達成率}) = (\text{狭あい道路整備延長}) / (\text{R2末時点の狭あい道路整備目標延長(1506m)})$	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%